

【街角の話題から】

(その一)

100円バスで山形市七日町方 JP 山形駅まで移動した。平日の午前中にもかかわらず、まずまずの混雑ぶり。小学生 20 人ほどが乗車し、車内は一気ににぎやかになった。社会見学なのだろうか、楽しいそうにおしゃべりしている。

他の乗客とともにほほえましく見守った。しかし数分後、その笑顔がこわぼってしまった。若い妊婦が乗車してきた。空席はなく彼女は立っているしかない。子供たちの誰かが、席を譲るだろうと思った。

しかし、その気配はない。同乗していた引率の先生(?)も妊婦が立っていることに気付いていたはずだが、諭すことはしなかった。

勉強を教えるだけが教育者の務めなのだろうか。もっと大切なこともあるはずだと思った。



山交バス



山交ビル バスターミナル

(その二)

先ごろ、道路工事中、珍種の野鳥の営巣を確認—ひなが巣立つまで工事を休止した、というほほえましい記事。

鶴岡市平京田の国道7号線バイパス高架橋、高さ20メートル程の場所にある橋げたにハヤブサ科の「チョウゲンボウ」という鳥が巣をつくり、つがいの親鳥が子育てに追われていたという。

工事を管理する国土交通省酒田工事事務所では早速業者と現場調査、巣の中に4羽のひな鳥を確認、ひな鳥が巣立つまでは工事を中断することにした。

その理由が「自然環境や生態系に配慮した社会資本整備を心がける為」実に粋な計らい。



チョウゲンボウ(親鳥)



チョウゲンボウ(幼鳥)